

2020年度第3回公立大学法人公立諏訪東京理科大学教育研究審議会議事録

日 時 2021年2月19日(金) 15:30~16:20

場 所 遠隔会議 (Zoom 使用)

出席者 小越議長、松江委員、大島委員、木村委員、市川委員、松岡委員、加藤委員、
吉本委員、酒井委員、井中委員

(牛山事務部長、濱財務課長、伊藤教務・学生支援課係長)

欠席者 三枝委員

[配付資料]

1. 2021年度の活動に向けての方針(案)について (資料1-1)
2. 2021年度年度計画(検討案)について (資料1-2)
3. 2021年度予算編成方針と2021年度予算(案)について (資料2)
4. 2019年度地域連携研究開発機構研究成果報告書について (資料3)
5. 2020年度進路内定状況 (資料4)
6. 2021年度学校推薦型選抜実施結果 (資料5-1)
7. 2021年度一般選抜志願状況 (資料5-2)
8. 2020年度(前年度)入学試験実施結果<参考> (資料5-3)

[前回議事録確認]

前回議事録について、議長、大島委員、木村委員により内容を確認したことの報告があった。

[議 事]

1. 議長・学長挨拶

小越学長から、審議に先立ち挨拶があった。

2. 会議内容

- (1) 2021年度の活動に向けての理事長及び学長方針(案)について
／2021年度年度計画(検討案)について

小越議長から資料1-1をもとに、中期計画の自己評価について、2020年度の単年度では新型コロナウイルス感染症の影響により「年度計画を大幅に下回る」と評価している項目もあるが、3年間を総括すると概ね順調であることが報告された。また、2021年度以降の活動に向けての方針について、理事長方針として、大学のブランディングや知的資源の地域還元、環境整備の推進を掲げていること、学長方針として、パーソナルAIの活用やDX化による研究の効率化及び質向上を図っていくこと、また、AIの地域課題解決への活用を推進していくこと等について報告があり、審議の結果、原案どおり承認された。

また、牛山事務部長から資料 1-2 をもとに、2021 年度年度計画の検討案について、2020 年度はオンライン授業が中心となったことからアクティブラーニング等一部の授業について対応に苦慮したのもあったが、一方で、録画授業の活用などオンラインならではの効果的な側面も明らかになったこと、研究交流や高大連携等についてもオンラインを活用した連携・交流活動を推進していく予定であること、また、総合情報センターを設置し、大学設備の DX 対応を推進していくこと等を記載していることについて報告があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(2) 2021 年度予算（案）について

濱財務課長から資料 2 をもとに、2021 年度予算（案）について、経常費用は 2020 年度予算並みとし、基本編成方針にもとづき、「研究領域拡大対応、人的資源拡充」「New-normal に伴う教育研究環境の質的向上」「今後の新学科に向けた敷地整備計画等の将来設備準備」に係る予算及びその他の 2021 年度事業単位施策で追加予算措置が必要な予算を組み込んだこと等について報告があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(3) 教員業績評価について

小越学長から、教員業績評価（研究部門）の評価方法について、従来 9 つの研究分野別に評価を行っていたが、研究分野が自己申告であったこと、また、分野によっては対象教員がごく少数となっていることから、次年度より工学部及び共通・マネジメント教育センターの 2 分野で評価を実施することを教員人事委員会において決定したことについて報告があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(4) 2019 年度地域連携研究開発機構研究成果報告書について

小越学長から資料 3 をもとに、地域連携研究開発機構の 2019 年度研究成果を報告書としてまとめたことについて報告があり、報告書に関する意見を電子メール等で寄せたい旨依頼があった。

(5) 2020 年度進路内定状況について

加藤教務・学生支援課長から資料 4 をもとに、2 月 12 日現在の進路内定状況について、就職内定率が前年度より約 8%低い状況であることが報告された。このことについて、再度学生一人ひとりに状況確認を行うこと及び進路未決定者に対する 4 月以降の情報提供体制を検討中であること等について報告があった。

(6) 2021 年度入学者選抜実施状況について

加藤教務・学生支援課長から資料 5-1 をもとに、学校推薦型選抜の推薦枠ごとの実施結果について、今年度選抜方法の変更を行った専門高校・総合学科枠においては本学の評価方法で力を発揮できる高校生からの出願が増加する等の成果が見られたこと及び各推薦

枠の合格最低点の状況等について報告があった。また資料 5-2 をもとに、一般選抜について、両学科とも前期日程で 3 倍以上、中期日程で 20 倍以上の志願倍率となっていること、試験会場別では諏訪会場の志願者数が大きく増加しており地元志向の高まりが表れていること及び過去 3 年間の志願動向の変化について報告があった。

最後に、次回の教育研究審議会は 5 月 21 日（金）に実施を予定していること、実施方法については対面を予定しているがオンラインでの参加も可能とする予定であることが確認され、今回の議事録確認者として市川委員、松岡委員の 2 名を小越議長が指名した。

以上